

第1回 高校生SDGs選手権大会 ポスター発表 説明資料

学校名	福岡県立八幡高等学校
チーム名 (メンバー名)	7A班 (小林快、池田康生、中島稜太、田代太裕、宮部紀希、竹山誠樹、坂本虎之郎)
作品タイトル	安全な農作物を作るために
関係する SDGsのゴール	2 飢餓をゼロに 17 パートナーシップで目標を達成しよう
説明文	<p>私たちは、安全な農作物をつくるために何が必要で、具体的に何をすべきかを研究しました。私たちは主に、水耕栽培という栽培方法に注目しました。</p> <p>水耕栽培は降水量の少ない砂漠地域や乾燥した地域で行われている方法で、メリットとして水の使用量が少ないことが挙げられます。これは、日本の農業用水の不足を補う重要なポイントです。</p> <p>水の腐敗が早く、こまめに交換を行う必要があることや、設備に対するコストパフォーマンスの低さなどがデメリットとして挙げられます。我々は、この水耕栽培を利用した「水耕栽培食堂」を考えました。売り上げの4割を世界の食料自給率の低い国（特に発展途上国）の農業のために寄付をします。</p> <p>この方法のみで世界の食料自給率を上げるには長い時間が必要です。ここで必要になるのは日本の農業技術の拡充です。</p> <p>また、このような規模の大きなことでなくても、私たちにも農業用水不足の対策として節水をすることなどができると考えます。</p>
課題、 今後の展開など	<p>今後は、世界的にも食料不足が深刻化することが懸念されています。そうした中で水耕栽培などの効率的な栽培方法は大きな役割を担うと考えます。</p> <p>私たち高校生にできることは、そのような問題を知り、知識を蓄え、そこから発展した提案をすることや、身近もある水の問題などに日頃から取り組むことです。</p>
参考文献等	

(説明文は1ページ以内)